

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



アハハ(^O^) 若いね~(\*^ ^\*)

## 目次

歌と踊りの集い	2
歌と踊りの集い ~ボランティアさん編~	3
港養護夏まつり、実踏報告	4
総会報告	5
虫めがね	6
虫めがね(パート2) 新メンバー紹介	7
学習会	8
実習所報告、夕会報告	9
寄付、スケジュール、 和栗さん連載	10
小野塚さん連載	11
編集後記	12

2009年

8・9

合併号



# ご報告するニヤ~



夏休み、みなさんいかが過ごしていますか。元氣ですか。ぼくの予定は八階に泊まる事になりました。スイカ、メロン、冷やし中華は美味しいよ。高校野球始まる。花火あがる。きれい。家で一緒に見ます。

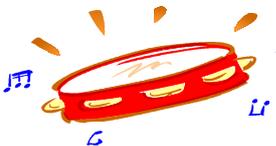


松本 恵司



全体的に楽しかったです。歌と踊りの出し物では、楽器（特に打楽器）を使って行きたいです。

小野田 浩



## しかさんダンシング~!



「街へ出ようよ」歌われるというサファイアがありました。さらに、ファイアーには実行委員長の花田さんが東京タワーのコスプレのような格好してきたことに意外でした。次回ほどのような格好をするのか楽しみです。

田中 聡

七月十一日(土)午後一時三十分〜四時まで、麻布区民センターにて「歌と踊りの集い」が行われ、風の子も参加をさせていただきました。保福さんの歌で会場を盛り上げていただきました。その後、なかよし会や港特別支援学校などの、各団体の出し物が行われ、風の子は「森のくまさん」をオペレッタ風に行いました。世界一美しく可憐な美女が舞台上に登場すると、観客席から拍手の大嵐でした。成功をしておよかったと思います。詩の朗読では、風の子の飯尾さんと佐久間さんの詩が採用されました。とても良い詩だったと思います。そして最後のファイアーは、恒例となっているフェイスコタイムで盛り上がりました。武井区長が・保福さんと一緒に「街へ出ようよ」歌われるというサファイアがありました。さらに、ファイアーには実行委員長の花田さんが東京タワーのコスプレのような格好してきたことに意外でした。次回ほどのような格好をするのか楽しみです。





熊が追いかけてきた〜！  
逃げる〜☆  
(>\_<)



全身黒の装いにまさしく「森のくま」ならぬ「麻布のくま」でした。  
本番までのみなさんの様子もどことなく緊張気味。でも、いざ本番となると舞台せましと本領発揮！会場を跡にしたときのみなさんの笑顔は、いつもの笑顔と同じでした。  
小林 和彦



**楽しい 夏の一時 歌と踊り会**

その日の為の 毎日 皆で 考えて 創る。  
そして 動き 歌い 笑う笑う笑う！

私が一番好きな事。  
舞台ってちゃんと稽古すると自由な世界が広がるんです！

皆で 森の中に居た様な 何分間でした。今度は海の中や昔話の世界や遠い国へ行きましょか？

稽古はスパルタだけどね（笑）

有り難う 皆！  
有り難う バックアップしてくれた方々！

思い出し笑いしながら、蒸し暑い夏を元気に乗り切りましょ！

小川 絵莉



夏を迎える祭り、恒例の歌と踊りの会に私は今年で2回目の参加となりました。1昨年はラストのディスコタイムで、障害を忘れさせるほどの熱気に、車椅子を押しながら私もついイエイツ (^\_^)v ♪

今年の発表は前回に増して芸術性が高いように思いました。皆様の心が障害を乗り越え、目的に向かい今一つになりました！！力を合わせれば、一人で出来なかった事もできるようになる♪

さあ次は何にチャレンジします？回を重ねるたびに可能性に広がりを感じています。

能代 かおる



ディスコ  
タイム〜！  
イエイツ〜♪



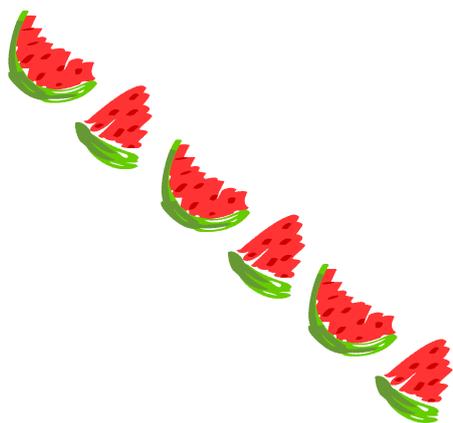


# 港特別支援学校 夏まつり



7月18日（土）午後3時～午後6時まで、東京都立港特別支援学校にて、夏まつりが行われ、風の子会を代表として七名が参加をしました。風の子はオリジナル商品を販売をしました。祭りの内容は、盆踊りやアンパンマンショーなどが行われ、さらに先生方四・五名による、コピーバンドを結成をして懐かしの曲を演奏をしていました。僕と田村さんは、知り合いの先生に会いに行ったり、きょうされんの営業をしていたため販売場所にはあまり要られませんでした。その為、売り上げに貢献が出来なくて残念な気持ちでいっぱいです。僕は、港支援学校の夏まつりを三・四年連続の参加をしているので、また次回、夏まつりが行われたら参加をしたいと思います。

田中 聡



## 旅行下見実踏報告

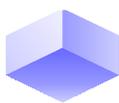
九月の旅行の下見に行事委員として行ってきました。今年の目的地は石和です。首都高速四号線を経て中央高速へ。途中サービスエリアをチェックしながら、大月ジャンクションで二手に分かれました。別班は河口湖方面を見学、僕らは双葉サービスエリアを経て葦崎インターチェンジで降りてハイジの村を見学。峠道をひたすら走って昇仙峡にある影絵館を見学し、石和に向かってかんぽの宿を訪れました。宿は去年の旭と似たような感じでした。2時間ほどかんぽを見て回ったあと、石和周辺の観光スポット（フルーツ公園、モンテ酒造、信玄館）をチェックし帰途に着きました。

今年で下見参加も三回目となり少しづつ要領が握めてきました。あえて反省点を挙げるとすれば、僕も、もっとルートなり地図なりをしっかりと予習しておけばよかったなというところでしょうか。今回、見て回ったところを次の会議で話し合い、どこへ行くかを定める訳で、その会議は下見の翌週に行われるのです。

小野塚 航

トイレチェック  
は基本です





# 定例総会報告



総会は6月13日に開催されました。議事は、活動報告、決算報告、定款変更、役員選出、活動方針、予算でした。その内容をまとめて報告します。

1 会長の挨拶の趣旨は次のようでした。

通所訓練事業から自立支援法の障害福祉サービス事業に移行した模索と混乱の一年間を職員の奮闘により切り抜けることができ、事業の経理管理は安定してきました。また昨年には創立30周年の記念式典を開催し、ひとりぼっちの障害者をなくすために、また、障害者の豊かな生活を実現する風の子会が30年を経てなお健在なことを内外に示したところです。順調に若い人に運営の要をバトンタッチしていければと願っています。

2 2008年度の活動を振り返り以下の点を確認しました。

- (1) 通所事業では、新しい仲間を迎えているが、去ってゆく仲間も多く、全体としては徐々に風の子会の仲間が減ってきている数年間の傾向。
- (2) 安定した財政が保障されない自立支援法のしくみと、その財政的落ち込みを補助する区の通所事業財政補助制度のありがたさと、そのありがたさが永遠ではなく不安定なものであるという現実。

3 そのような点をふまえて2009年度に向けて以下のことを決定しました。

- (1) 財政基盤を強めるために認定NPOの認定を申請する。そのために定款を改正する。
- (2) ひとりぼっちの障害者をなくすためにも、外に出よう、ふれあいバザーのような、風の子会の存在を知らせ、外にひろがる活動を模索する。
- (3) 平成13年に解散した障害者の豊かな生活をすすめる会の助成金により、風の子会をPRするDVDを編集作成する。
- (4) 風の子会に通所する以外の人にも、風の子会に通所する人と同じ歯科検診や健康診断あるいは予防接種が実現できることを模索する。
- (5) 障害者の豊かな生活を実現するためにも、仕事の開拓やレク活動の充実などでの通所での生活の改善をめざす。
- (6) 埼玉で開かれる共同作業所全国連絡会全国大会に代表を派遣するなど、全国の仲間と実践を交流し、また全国の仲間と連帯して我が国の制度を改善させる。

これらの決定を実践するには、職員さんに頑張ってもらわなくてはならないことは事実です。しかし、財政上の最優先課題として芝実習所開設時の長期借入金の完済をしなくてはならないなどの諸事情のため、あいかわらず不十分な賃金労働条件で我慢してもらわなくてはなりません。私たちは、劣悪な条件でも障害者のために働いてくれる職員さんに感謝と敬意を表します。そしてなるべく早く待遇改善ができるように運営する者として努力します。

(文責 事務局長 井出)

 (敬称略)	矢代 奈津三	岸田 貞子	岡本 裕介	内田 千春	佐久間 久仁子	雨宮 潔	諸角 始子	三木 直人	三木 順子	諏訪 敏子	幸 高史	田中 聡	太田 圭子	運営委員 長坂富紗子	監事 佐久間 健 松本 成子	理事 花田 政國 (会長) 岡本 明 (副会長) 井出 義文 (事務局長) 太田 稔 丸岡 秀明 (所長)	役員・顧問・運営委員名簿 (平成二十一年度)
		小林 高史	河原 雅子	岡 佳代子	田中 あけみ	天海 喜美子	美馬 貴志	真部 栄太郎	波多野 栄子	小倉 英克	真部 千代子	小野塚 航					



# 虫めがね

## ～自分のないたかった職業編～

今回の虫めがねも「自分がなりたかった職業」です。和栗さん、太田稔さん松本恵司さんは、どんな職業に就きたかったのでしょうか？



私が、健康で満足な身体だったら、長男の私は家の家業を父から、受け継いでいたので、おそらく自分で好きな職業に就くのは、無理な話であった。実は私の家は、あんパンの元祖、銀座木村屋総本店の支店で、父が、六本木にパンの製造販売と喫茶店の二店舗を経営していたため、長男の私が、継がなければならなかった。実は私は、商人には向かない性格なので、家業を姉にゆずって私は、当時は、東京帝国大学、今の東大工学部造船科で学んで、海軍技術将校と成って、軍艦の設計をやるか、それとも、工学部航空研究所で、飛行機の研究開発を勉強して、航空機の設計をやりたかった。（当時、東大航空研究所は、和田小六博士が所長で、航空機の研究では、世界のトップレベルで、ここから、名機零戦の設計者や、数々の日本の名機を生み出した人達は、この研究所の卒業生なのです）。



\*（海軍では、優秀な学生には、学費全額負担、その上、給金と、部屋まで用意され、服も少尉候補生の服で、見た目では、普通の海軍士官ですが、ただ違うのは、襟の階級章ではなく、学の文字が付いているのである）

東大が落ちたら、その時は、歴史小説の作家か、ドキュメンタリー作家になりたかったのです。今はからずも、パソコンのお陰で、その夢が叶えられて、拙い文章でお恥ずかしいのですが、風の子便りに、貴重な紙面をさいて頂き、下手な小説らしきものを連載として出さして頂いて、皆様に読んで頂いて、私にとつてこんな嬉しいことはありません、私は、パソコンの前で、文章を考えながら書いて居るときが、楽しく充実した大切な一時なのです。

和栗 顕太郎





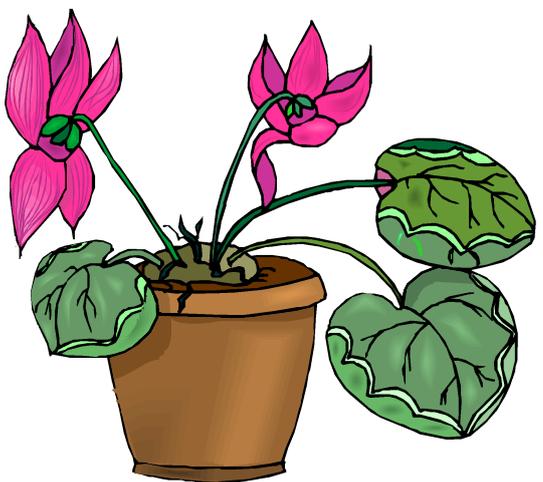
僕がなりたかった職業は、成長期と共に、違っていたような気がします。まず少年期は、飛行機のパイロット。大空を飛んでみたかったのです。それから青年期、僕はお祖父ちゃんが昔やっていた、株式相場を僕が受け継いだ形になりましたが、この頃はまだ、通信網が、発達していない物ですから売り買いが成立すると取引所から自分の勤めているお店に帰ってそれを報告するのです。とても大変な仕事である反面やりがいのある仕事でした。ですから僕は昔の証券屋さんになりたかったのです。

太田 稔

花屋さんの店長になりたいです。僕は花の匂いが大好き。たまらない。それに格好いいから。あこがれの的にして欲しい。あまい香りのシクラメン、サクラももいろ満開。花はきれい。

きゅうこん、種まき、水やり、大変な仕事だと思います。でも楽しい職業なので一生懸命勤めます。よろしくお願いします。

松本 恵司



### 新メンバー紹介



新しくメンバーとして立石豪（たていしたけし）さんが入所されました。田村がインタビューしてきたので紹介文として載せます。

”好きな事は温泉に入りに行ったり、小説を読んだり旅行する事が好きです。休日はテレビや本等は見ずに、ゴロゴロ過ごしています。好きな食べ物は和食全般で、特に白飯・味噌汁が好きです。嫌いな食べ物はハンバーグ等肉類全般です。行ってみたい所は国外ではアメリカ、国内では熱海です。好きな科目は体育ですが、苦手です。好きな乗り物は車（他人が運転する車）です。”



よろしくお願いします！

# 学習会報告

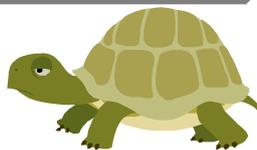
木田 孝子

**六月十日【映画鑑賞「母べえ」】**  
 今日六月十日の勉強会はビデオ鑑賞でみんなが選んだ、吉永小百合の「母べえ」を観ました。昭和十年代が主の物語で旦那が思想犯で捕まって、留置所へ入れられてしまい帰ってこないと言うストーリーでした。



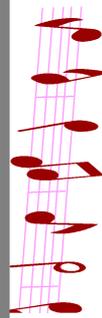
**六月十七日【歌と踊りの練習】**  
 歌と踊りの芝居内容を見直すと言うことで、急遽一日使って練習をしました。だいぶ盛り上がってきました。

**七月八日【歌と踊りの練習】**  
 「歌と踊りの集い」本番前の最後の練習をしました。後は、当日うまくいけばと思います。



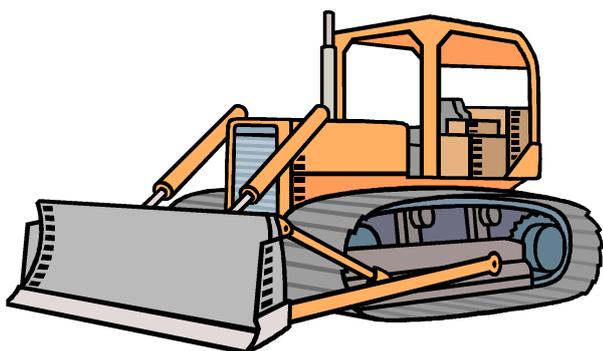
**七月一日【歌と踊りの練習】**  
 練習にはボランティアさんも、たくさん来るようになりました。ボランティアさんも積極的にいろいろなアイデアを出してくれたので、それを取り入れたりしました。

**六月二十四日【歌と踊りの練習】**  
 この日も一日使って「歌と踊りの集い」の練習をしました。BGMも新しく決め直して、だんだん形になってきました。



**七月二十二日【北朝鮮の話・働く車】**  
 前半は河原さんが北朝鮮はどんな国かを教えてくれました。名物は蛤のガソリン焼きとの事で、みんなびっくりしていました。  
 後半は、岡本さんがいろいろな働く車を教えてくれました。また世界の交通事故率等も教えてくれました。

**七月十五日【予定決め】**  
 この日の学習会は前半も後半も、八月の夏休み前までの予定決めでした。



### 工房実習所報告

和紙はがき作りを一所懸命頑張っています。  
 今ははがきに色を付けています。ピンク色です。



1日にだいたい20枚くらい  
 作ります。吉田印刷さんから  
 印刷物を拭く内職の依頼が来ま  
 した。箸の内職も来ました。港  
 養護まつりに出店する商品作り  
 に励みました。麻布区民セン  
 ターで催される演劇の  
 幕間に販売をする商品

を納める依頼がはなみずきから  
 きました。

斉藤 臣一



### 企画実習所報告

6月下旬を使い、夏季商品『T シャツ・タオル』の営業に行ってきました。

工房のメンバー・職員さんにも手伝って頂き、少人数で何回にも渡り図書館や幼稚園・学校等の公共施設にパンフレットを配ってきました。26日には、企画のメンバー・職員さん全員と、工房の一部のメンバー・職員さんの助けを借りて区役所に営業に行ってきました。4グループに分かれ、階層毎に担当を決め回ってきました。区役所の営業を終えた後全員で集まった後に、議員会館に全員で営業をしてきました。

田村 亮彦



## 夕会便り

七月十八日  
 居ない人もいましたが（港養護の夏まつり）夕会が開かれて今年もボランティアアさんを御招待して、暑気払いをする事になりました。準備委員は朝生君と田中君と小野塚君です。よろしくお願ひします。

太田 圭子



七月十八日に行われる港養護の夏まつりに、風の子からは松本君親子と田村君と田中君が、職員は内田さんと小林君が参加するようになりました。

六月二〇日  
 今年のきょうされん全国大会は埼玉県のさいたま市で、九月十九日と二十日の二日間行われますが風の子会からは代表として、行きたい人の希望者を募りました。



# 寄付のお礼

（六月七日〜七月二十五日）

## 賛助会に御賛同くださった方

田中紀義様、あけみ様 雨宮蓉子様  
 小野田和子様 三木順子様 諸角始子様  
 大島冷子様 渡辺一元様 島村享延様  
 小久保薫様 太田ヨシエ様 中山進様  
 大野正美様、ゆきみ様

## 寄付をくださった方

井出義文様 高野カネ様  
 波多野栄子様

## 物品をくださった方

薛様 岡崎紙工様 仲江様  
 牛山様 山崎真理子様  
 昆咲子様 小野田春子様



あーがやんべーがいらあつた

# スケジュール

- 8月 8日（土） ◎◆△暑気払い▲◇
- 8月13日（木）～8月23日（日）まで  
【夏休み】
- 8月30日（日） ★☆☆高浜夏祭り☆☆☆
- 8月31日（月） 振替休日
- 9月 5日（土）～9月 6日（日）まで  
☆☆☆風の子会一泊旅行☆☆☆（山梨県石和）
- 9月 7日（月） 振替休日
- 9月19日（土）～9月20日（日）まで  
きょうされん全国大会・さいたま
- 10月10日（土）～10月11日（日）まで  
☆☆☆みなと区民まつり☆☆☆
- 10月13日（火） 振替休日
- 10月25日（日） ★☆☆ヒューマンぷらざまつり☆☆☆
- 10月26日（月） 振替休日



## シベリヤ出兵秘話

第五十七回

一行を乗せた車は、大和ホテルの玄関に着くと、遠路ご苦労様です、二人を出迎えたのは、朝鮮駐屯軍司令官、香椎少将であった。ステッキを持った格幅の良い白い背広の紳士こそ、参謀本部次長の佐伯中将で、香椎とは、士官学校の同期であった。もう一人の白服の紳士は、陸軍省軍務局、第一部長、牛島少将であった。閣下お部屋に御案内いたします。憲兵と、ホテルの従業員が、二階の特別室に案内をした。佐伯様と牛島様の御荷物、只今届きました。ポニー二人が、大型の黒と茶色の二つのトラックを部屋に運んできた。佐伯が、ご苦労さんとポニーにチップをわたすと、ポニーは、一礼してドアを閉めると出ていった。佐伯と牛島は、トランクを開けると、中には、長靴、軍刀（サーベル、戦時には日本刀に取り替える）軍服、軍帽が入っていた。二人は、急いで服を着替えると、厳めしい陸軍中将と少将の姿に変身した。ドアの外から、憲兵と駐屯軍の若い中尉と少尉が、不動の姿勢で敬礼、閣下お迎えにまいりました。佐伯と牛島は、ドアを開け、御苦労、答礼、二人は、一階の大広間へ階段をゆっくりと下りていった。

栗あきら

## わたるのドミトリライフ

【ドミトリとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### ～ 思ひ出ラプソディ part II ～

今年の6月のとある土曜に、赤坂で催されるパーティーに参加した。それは、大学の後輩が結婚したことを祝うパーティーだった。僕はその後輩とは当時仲が良かった方（だと思う）だったので、招待されたことは素直に嬉しかった。

実はその後輩は4月の下旬に山形で披露宴を挙げていた。酒の上での話で何故か僕も披露宴に急遽参加することになり、車で5時間以上もかけて山形まで行く羽目になった。アラフォーと呼ばれる年齢になりつつあるにもかかわらず、いまだにこういういきおいとかノリだけで行動できてしまうのは、僕らの中には今でも寮生の血が流れているということなのだろう。

土曜の風の子は5時に終わり、それから送迎に移る。40分くらいに部屋に戻ると2、3分も間を開けずに同輩がやってくる。マンションの1階に降りてタクシーを待つ。待ってる間にパーティーへ同行する先輩二人が合流する。タクシーに4人で乗り込み赤坂へと向かう。10分くらいで赤坂に着き、店のあるビルを探す。小さな雑居ビルの2階にある『ケニーズバー』という店がパーティー会場だ。狭いけれど、アンティークな内装で小さなステージがあり、キーボードが置かれているシックなバーだ。パーティーの始まりは6時からで僕らもやや遅れて着いたのだが、バーにはまだ人はまばらだった。幹事と軽く挨拶を交わして会費を払い、適当な席を見つけて腰を降ろした。

その後輩-Nと呼ぶことにする-Nは学年でいうと僕の2つ下だ（僕が2浪で彼女が1浪だから実際の年齢差はちょっと計算が面倒になるが、そんなことはまあいいだろう）。Nの学年は相性のいい奴が多く、よくつるんで遊んでいた。カラオケ、麻雀、ドライブ etc・・・何もないときでも、彼らは僕の部屋の溜まり場の常連だった。こたつに脚を突っ込んで雑誌を読んだり、オーディオのCDをかけたり、ファミコン（当時はスーフファミだったか）に夢中になったり、そんな何気ない日常がその年は続いていた。その年、というのは僕が3年目で自堕落さを満喫していた年だ。友情があり、些細な諍いがあり、恋の鞘当て（死語か？）があり、無謀さがあった。そんな年だ。そんな仲間の中の一人であるNが結婚するという。嬉しい知らせであり、同時に僕の胸の奥の方に忘れていたかすかな痛みを思い出させてくれる知らせでもあった。

卒業後もしばらくは連絡を取り合って会ったりしていたが、僕が新橋に移り住んでからは会う機会が徐々に減っていき、ここ数年はほとんど会うこともなくなっていた。それが1、2年前にふとしたきっかけでメールのやりとりを再開し、今は山形に住んでいることを知り、そして彼女が結婚することを知ったのだ。それから更に半年くらいが過ぎ、先輩達との飲み場で、話の流れとか酒の勢いとか、なんだかわからない経緯で披露宴に出席することになり、そしてこうして赤坂のパーティーに参加している。

パーティーが佳境に達した頃、賑わい合うバーの中でビールを飲みながらぼんやりとNを眺め、「そうか、あれからもう10年も経っちゃったんだな」と呟いた。

～ 本編にもどる ～



巡りめぐって季節はもうすぐ秋、なのにまだまだ猛暑・酷暑（残暑？）が続き、身体はついて行けず・。1970年代～80年代は、25℃を超える日はごく稀でましてや30℃なんて考えられませんでした。慣れというものは恐ろしいもので、最近では28℃はもう当たり前で30℃超えが普通になってきました。が地球にとってはありがたくない状況のようで。ここ百年で世界の平均気温は2℃ほど上がっているそうです。このまま気温の上昇が続くと・・・。だからみなさんせめてエアコンの設定温度を控え目にしたり涼風や除湿設定にして夏を乗り切りましょう（電気代も安く済みますし）。また身体のために、夏バテ予防に。

三木 直人



5月にレスパイトの人と映画「GOEMON」観に行った。天下の盗人、石川五右衛門が主役のアクション映画。とても絵や音量がたまらないの。ぜひ見てほしいです。ガレッジセール2名。江口洋介かっこいい。広末涼子の茶々様良いよ。殺陣のアクション最高でした。男の人3イケメンはかっこいい。漫画家でタレントの蛭子能収もいいキャラ。アクション興奮した。良かった。また見に行きたいです。感動作品。涙出た。止まらない。



松本 恵司



和栗 顕太郎

今、日本とフランスが、アメリカに新幹線の猛烈な売り込みで、凌ぎを削っている。日本の新幹線は、開業以来目立った大きな事故は一度も起きていない。安全な乗物として、過去四〇年間無事故で走り続けている。既に、中国では、日本の三〇〇型が、中国の人々を、安全な早さと快適な旅で楽しませている。インド、ブラジルも目下建設中で、日本の新幹線が、走るのも間近い。確かにフランスの新幹線の方が早いのだが、開業以来、脱線や脱線転覆事故を三回も引き起こしている。日本の新幹線は、開業以来四〇年間、無事故なのである。これは、中央制御システムのお陰なのである。



## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者  
和栗 顕太郎  
三木 直人  
田中 久彦  
佐野 正圭  
小野 聡  
太田 航

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砦6-26-21

吉田 久磨  
右松 代子  
田本 司  
田中 聡  
小野 航  
太田 稔

